Forest Winds フォレスト・ウインズ
もりからのかぜ・東北
No.9 2002年8月
独立行政法人・森林総合研究所・東北支所

ハチ刺されに注意!

▼カラマツに営巣したケブカスズメバチ

▼樹液を吸うオオスズメバチ

【撮影：牧野　俊一】

夏から秋にかけては，スズメバチなど（以下ハチ）による刺傷害が多発する季節です。ハチの巣は夏頃から次第に大きくなり，大事な巣を守るためハチの攻撃性はいちだんと高まってきます。一方，この季節は下刈りなどの農林作業や行楽など野外で活動することが多くなりますが，やぶの中や土の中に造られたハチの巣に事前に気がつくことはほとんどありません。知らないうちに巣に近づきハチを刺激して，突然刺されることが多いのです。では，ハチに刺されないためには，どんなことに注意すれば良いのでしょうか。

ハチ刺されは怖い

ハチに刺されて，毎年約30人もの人が亡くなっています（右図，厚生労働省人口動態調査より）。これは毒ヘビなどによる犠牲者の約3倍にもなり，大きな問題になっています。犠牲者の多くはハチ毒アレルギーの人で，そうした人が刺された場合は，迅速に病院で手当を受けることが必要です。

ハチに刺されないために

① 明るい色の服装

ハチは動いている黒っぽいものを本能的に攻撃します。山野へ入る場合は白あるいは明るい色の服を着用し，手に軍手など，首にはタオルをかけたりしてできるだけ肌を露出しないようにします。頭部や顔は攻撃されやすいので，つばの広い帽子をかぶるようにしましょう。林業作業では，頭部を保護する網つきの帽子を使用します。

② スプレー式殺虫剤で撃退

ハチは殺虫剤に大変弱く，家庭用のスプレー式殺虫剤で容易に撃退できます。特に，ハチの集団に襲われた場合は，殺虫剤の使用で被害を広げないようにすることができます。現在はハチ専用のものが開発されていて，小型で携行にも便利になっています。

③ ハチを刺激しない

ハチは手を横に振ったり，体をひねったりする急な動きに刺激されて攻撃してきます。巣を見つけたら，静かに後ずさりして遠ざかるようにしましょう。

④ ハチの生息をチェック

林業作業では，事前にハチが生息しているか調べることも大切です。そのために，ペットボトルにハチの入る穴を開け，ハチの好む液（酒，砂糖，酢の混合液）を入れた誘引器が利用されています。スズメバチなどが捕獲されたら，作業を慎重に行うことが必要です。

【樹上に造られたキイロスズメバチの巣】

【屋内に造られたキイロスズメバチの巣】

近年，市街地でスズメバチ，特にキイロスズメバチが増えています。これは山野の宅地化が進んだことや，造林などにより雑木林などの生息場所が少なくなってきたことが関係していると言われています。同時に，家屋自体が，軒下，屋根裏，戸袋など格好の営巣場所をスズメバチに提供しています。私たちの観察では，伏せられた植木鉢，ふた付きの発泡スチロールの箱，埋設されたバルブの操作口など思わぬ所に巣が造られていました。ハチ刺されには，家周りでも注意が必要です。

森林総合研究所・東北支所
●生物被害研究グループ長　後藤　忠男
●連絡調整室　下田　直義
〒020-0123　盛岡市下厨川字鍋屋敷92-25
TEL 019-641-2150　FAX 019-641-6747